

令和3年度みなべ・田辺地域世界農業遺産事業活動報告書

単独事業

1. 会議

総会：書面による議決。（令和3年5月25日）

専門部会：里山保全部会開催（令和3年7月27日）新規事業の提案について

観光振興部会開催（令和3年7月28日）新規事業の提案について

生産振興部会開催（令和3年8月2日）新規事業の提案について

販売促進部会開催（令和3年8月6日）新規事業の提案について

2. ホームページ管理運営【継続】

みなべ・田辺の梅システムのホームページにて、各種募集や事業案内、動画、広報等を発信

3. 啓発推進【継続】

・カレンダー作製

フォトコンテストを開催（募集期間：令和2年12月1日～令和3年8月31日）、144作品の応募があった。

各専門部会カレンダー委員による選考会を実施（令和3年9月21日）

選考された写真をカレンダーに掲載。ホームページにてダウンロード可
写真採用された方に、国内世界農業遺産認定地域の特産品を贈呈した。



・学習副読本増刷

みなべ・田辺地域の小学校で、地域学習等に活用して頂けるよう配布
毎年、小学3年生を対象に増刷し配布している。【1,000部印刷】



・梅システムマイスター養成講座

概要：世界農業遺産に認定された「みなべ・田辺の梅システム」について
世界農業遺産とは何か？認定された当地域の農業遺産とは何か？
世界農業遺産みなべ・田辺地域推進協議会の全面的な支援のもと
「みなべ・田辺の梅システム」の生態系の価値と仕組みを、
一般的な生態学の知見を交えながら、座学と現地生態系演習により
習得し、梅システムを説明・活用できる人材を育成する寄付講座。

講座回数：4回

受講者：31名（内訳：社会人7名、高校生9名、大学生15名）

講座内容及び講師について

・第1回 【令和3年12月4日（土）】

開校式

1. 世界農業遺産と日本（講師 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 理事長 武内 和彦氏）
2. 紀伊半島の地質と梅システム（講師 和歌山大学 教育学部教授 此松 昌彦氏）
3. みなべ田辺の梅システム（講師 和歌山大学システム工学部教授 養父 志乃夫氏）

・第2回 【令和3年12月11日（土）】

4. 石神梅林現地踏査（梅林と薪炭林）（講師 紀州田辺観梅協会 石神 忠夫氏）
5. 梅システムによって生産される梅料理の評価（講師 みなべ町梅料理研究会 会長 岩本 直子氏）
6. 梅システムとニホンミツバチ（講師 京都産業大学総合生命科学部准教授 高橋 純一氏）
7. 梅システムの歴史（講師 梅システムマイスター 上野 章氏）

・第3回 【令和4年1月29日（土）】

8. 梅の植物生理と育種（講師 和歌山県果樹試験場うめ研究所 所長 竹中 正好氏）
9. 薪炭林持続性調査（講師 みなべ川森林組合 参事 松本 貢氏）
10. 備長炭生産調査（講師 和歌山県木炭協同組合 代表理事 原 正昭氏）
11. 梅システムの申請プロセスとアクションプラン
（講師 和歌山県農林水産総務課里地・里山振興室 主査 船本 健正氏）

・第4回 【令和4年2月5日（土）】

12. 観梅状況・ランドスケープ調査（講師 梅システムマイスター 糸川 昭三氏）
13. 梅システムの今後の展望と総括（講師 和歌山大学システム工学部准教授 原 祐二氏）
14. グループワークによるプレゼンテーションスライド作成
（ファシリテーター 和歌山大学システム工学部准教授 原 祐二氏、
和歌山大学南紀熊野サテライト 古久保 綾子氏）
15. プレゼンテーションと学習成果の共有

閉校式（修了証授与）

- ・聴講生（大学生を除く）14名が、当協議会が任命する梅システムマイスターとして任命された。

4. 住民主導支援事業【継続】

ワークショップから派生した4つのプロジェクトチームによる事業
令和3年度は3チームが事業を実施した。

●梅贈りプロジェクト

京都に梅を贈るプロジェクト。

京都で若者をターゲットに飲食店を展開している企業に梅干しを贈り、若者が食べやすい形での梅干しの活用方法の打合せをするとともに梅干しの活用方法について、情報共有していくことを約束した。

若者から得た梅干しへの情報を参考にして、商品開発についてプロジェクトメンバーと地元梅加工販売企業と意見交換を行った。

今後は若者を中心にアンケートを行うなどマーケティングをして、商品パッケージ案を考えていく。



●世界農業遺産5周年記念プロジェクト

令和2年度に引き続き、みなべ百年の森にて親子参加記念植樹会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、プロジェクト関係者のみでの実施となった。

令和3年12月5日（日）ウバメガシを中心に約200本の植樹を行った。



●まちキャンパスプロジェクト

1. こどもアグリスクールを開催

令和3年8月22日（日）

梅システムの紙芝居、備長炭（白炭）・BBQ用炭（黒炭）の比較、梅おにぎり、冷凍小梅で梅シロップ作りを行った。



2. 「世界農業遺産フィールドカフェ」を開催

令和3年10月9日（土）～10月10日（日）

和歌山大学クリエ『ひなたぼっと』のメンバーが世界農業遺産みなべ・田辺の梅システムを学ぶため、うめ振興館や製炭士によるガイドで里山や択伐について学んだ。



3. 蜜蜂の巣箱作りと世界農業遺産を守る薪炭林植樹活動を開催

令和3年11月13日（土）～11月14日（日）

（梅農家他）

和歌山大学クリエ『ひなたぼっと』のメンバーが世界農業遺産体験学習として、Bee Forest Club みなべ百年の森とオリジナル巣箱作りや5団体共同開催でウバメガシなど苗木360本の植樹や巣箱の設置を行った。



4. 「ワークショップ」を開催

令和4年3月27日（日）

「やにこい旧校マルシェ」in 旧清川中学校イベントにおいて、オリジナル缶バッジ作りのワークショップなどを行った。



5. 「紀州備長炭ができるまでの下敷き」を作成 【3, 300枚作成】

内容については、製炭士の監修のもとで下敷きを作成した。

（令和4年度にみなべ町、田辺市の小学1年生と4年生に配布、アンケート実施予定）



5. 啓発推進【新規】

・紀州備長炭原木等の植樹及び獣害対策の現地視察勉強会

里山保全部会から提案された勉強会を、令和4年1月31日（月）みなべ百年の森で開催した。

講師 みなべ川森林組合参事 松本 貢氏より、本来の里山へと戻す取り組みや植樹時の獣害対策、植樹後の管理について学んだ。



・生物多様性親子勉強会

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 上席研究員 前田太郎氏を講師に招き、令和4年3月27日（日）清川公民館で開催した。

参加した親子は梅とミツバチの関係を学び、花粉団子やハチミツの試食をしてから、身近にある植物の種類などを調べた。



・世界農業遺産ビュー看板の設置

紀州石神田辺梅林（施設駐車場内）と秋津川（紀州備長炭記念公園内）に世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」周知看板を設置した。



紀州石神田辺梅林



秋津川（紀州備長炭記念公園）

6. 住民提案型地域活動支援事業【新規】

世界農業遺産に関する地域の自主的な活動に対して支援を行い、地域の活力を創出することを目的とする。

- 令和3年7月20日～8月6日に追加募集。申請2団体のうち単独事業1団体
令和3年8月31日に審査会実施。採用1団体。

① 紀州南高梅を活用した商品開発

(株式会社 日向屋)

【紀州南高梅を活用し、ゼリーの商品開発と出展】

単独事業は、1団体の活動に対して補助を行った。



地方創生推進交付金活用事業

1. 住民提案型地域活動支援事業【継続】

世界農業遺産に関する地域の自主的な活動に対して支援を行い、地域の活力を創出することを目的とする。

●令和3年5月10日～5月21日に募集。申請5団体

令和3年5月31日に審査会実施。採用5団体。

① 世界農業遺産みなべ・田辺梅システムのPR

(清川里山まつり実行委員会) 【清川公民館駐車場裏山側に丸太オブジェを建立】

② 南部梅林 アル婚ツアー

(南部梅林糸川研究会)

【男7名、女性4名参加】

③ 蜜源樹の植樹事業

(みなべ梅郷クラブ蜜源植樹班)

【10a 植樹】

④ 備長炭原木(ウバメガシ)を後生に繋げる植樹活動

(みなべ川森林組合)

【10a 植樹】

⑤ 日本ミツバチ用巣箱の製作と設置活動

(Bee Forest Club みなべ百年の森)

【巣箱32箱製作、12箱設置】

●令和3年7月20日～8月6日に追加募集。申請2団体のうち交付金活用事業1団体

令和3年8月31日に審査会実施、採用1団体。

⑥ 紀州備長炭関係資材の展示による世界農業遺産のPR事業

(秋津川振興会)

【紀伊田辺駅待合ホールにおいて、紀州備長炭を使用したオブジェ・炭琴の展示】

交付金活用事業は、6団体の活動に対して補助を行った。



① 清川里山まつり実行委員会



② 南部梅林糸川研究会



③ みなべ梅郷クラブ



④ みなべ川森林組合



⑤ Bee Forest Club みなべ百年の森



⑥ 秋津川振興会

2. 認定地域間交流推進事業【継続】

国内認定地域が連携し、特産品の販売と世界農業遺産に認定された地域の魅力のPRを組み合わせたイベントを実施

1. 第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会

イベント(宮城県大崎市主催)

令和3年8月7日(土)～22日(日)

【パンフ展示、PR動画配信】

令和3年9月5日(日)【オンラインで大会に参加】



2. 阿蘇世界農業遺産マルシェ in ゆめタウン光の森

イベント(熊本県主催)

令和3年10月16日(土)～17日(日)

ゆめタウン光の森(熊本県)

【ミニのぼり、啓発物品】



3. 「GIAHS認定10周年記念フォーラム in 佐渡」

イベント(新潟県佐渡市主催)

令和3年10月29日(金)～31日(日)

アミューズメント佐渡

【フォーラム出席】



4. 紀の国わかやま文化祭「県内農業遺産認定コラボPR」

イベント(和歌山県主催)

令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

和歌山ビッグホール

【PR用梅干し、梅札、啓発物品】



5. 羽田イノベーションシティ1周年イベント
 イベント(羽田みらい開発株式会社主催)
 令和3年11月5日(金)～7日(日)
 【ミニのぼり、PR用梅干し、啓発物品】



6. 世界農業遺産国際会議 能登2021
 (石川県・農林水産省・FAO・国連大学主催)
 令和3年11月25日(木)～27日(土)
 和倉温泉「あへの風」
 【フォーラム出席、事務局長登壇】



7. おいしい! KANSAI 応援企業
 (関西広域連合農林水産部)
 ・令和3年12月7日(火)
 伊丹空港
 【パンフ、のぼり、梅干し】
 ・令和3年12月13日(月)
 三井中之島ビルディング
 【パンフ、のぼり、梅干し】



8. エコプロ2021
 令和3年12月8日(水)～10日(金)
 東京ビッグサイト
 【パンフ、のぼり、梅干し】



9. 地域環境基金助成事業 活動報告会オンライン
 (NPO 法人能登里山里海マイスターネットワーク)
 令和4年3月12日(土)
 【PR動画】



- 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】
 ・ふるさと祭り東京 日本のまつり・故郷の味
 (ふるさと祭り東京実行委員会主催)：令和4年2月10日(木)～23日(水)

3. 都市農村交流推進事業【新規】

農業体験や農泊について学び、都市農村交流の発展を目指す事業です。

世界農業遺産認定地域で農業体験・農泊事業を行っている地域で、現地視察研修を行った。

- ・第2回観光振興専門部会開催

令和3年10月15日(金)

農業体験、農泊についての事前勉強会及び視察地の決定

- ・徳島県にし阿波へ農業体験、農泊について現地視察研修

令和3年12月 6日(月)～12月 7日(火)

- ・第3回観光振興専門部会開催

令和4年 1月18日(火)

現地視察研修の報告会



4. 耕作放棄地伐採及び植樹事業【新規】

増加傾向にある耕作放棄地について、梅の木を伐採し、ウバメガシやニホンミツバチが好む蜜源樹木（広葉樹）などを植樹することにより、周辺農地への病害虫対策及び備長炭の原木確保とニホンミツバチの保護に取り組む。

- ・みなべ町東本庄地区

事業実施期間 令和3年10月15日～令和4年3月18日

ウバメガシ 400本植樹 獣害防止シェルター 400セット

事業実施面積 2,000㎡

(事業実施前)



(事業実施後)



- ・田辺市秋津川地区

事業実施期間 令和3年12月1日～令和4年3月17日

ウバメガシ他 274本植樹 獣害防止シェルター 224セット

事業実施面積 2,500㎡

(事業実施前)



(事業実施後)

